

平成 27 年度

事業報告書

社会福祉法人 標津福社会

# 社会福祉法人 標津福社会 事業報告

## 1 はじめに

### I. 収支決算状況

平成27年度収支事業決算は、54,309千円（標津はまなす苑拠点▲19,693千円、陽だまり拠点▲34,616千円）の赤字となりました。

その主な要因について、標津はまなす苑拠点では、入院、死亡等により空床期間があったことによる減及びデイサービス利用者の減、陽だまり拠点では、設計内容の変更及び資材等の高騰による増によるものであります。

事業報告書P3特養「入院状況・入退所状況」の表にありますが、1ヵ月の入院者平均が6.2人で1日平均では3.5人と前年（H26）と比較して約4倍の入院者数であり、また退所も18件と多い状況で入所者の重度化と入院期間の長期化が稼働＝収入に影響を及ぼしていました。また、短期入所P8及び、デイサービスP9に関しては、標津町全体の人口統計から、ここ2年町全体の高齢者（65歳）の割合は増えている状況ですが、介護認定率（申請率）は低下している状況（H28年2月29日状況 65歳以上1,529人 うち介護保険認定者数208人）で、7.35人に1人の介護保険認定率となっている事から、介護施設利用の対象者自体が少なくなっている事が分析できます。

H27年4月の介護保険改正に伴う介護保険料収入の減を稼働率のアップのみでカバーせず、利用しやすい施設づくりと財務分析と安定経営目指し、年度途中より、事業推進委員会の立ち上げにより様々な検討と戦略を取り入れ実行し始めた年度となっております。

### II. 施設営繕

平成27年度は、特養入所者ベッドの一部を更新しました。

①ベット更新10台 3,596千円

※平成28年度は、ベット更新10台を計画しています。

※平成29年度以降は、緊急性を踏まえた営繕計画をたて収益状況を見ながら実施したい。

### III. おわりに

法人各事業が安定する事は、町民他、本人や家族が安心して生活ができる場所がある事への安心感に繋がると考えます。先ずは平成28年度以降もより一層の稼働率向上を目指しながらも、病院や他介護保険施設、関係機関との連携を強化し、事業推進委員会の提言を取り入れながら、計画、執行（収入に応じた支出に心掛ける）に努めてまいります。

## 2 特別養護老人ホーム標津はまなす苑

### 【 1.入所の状況 】

	入苑者数（月末）			満床時 ベット数	稼働 ベット数	稼働率 （%）
	男性	女性	合計			
4月	10	47	57	1,740	1,614	92.7
5月	10	46	56	1,798	1,578	87.7
6月	9	46	55	1,740	1,601	92.0
7月	10	48	58	1,798	1,723	95.8
8月	9	49	58	1,798	1,733	96.3
9月	9	49	58	1,740	1,629	93.6
10月	8	48	56	1,798	1,639	91.1
11月	9	47	56	1,740	1,550	89.0
12月	10	45	55	1,798	1,587	88.2
1月	10	46	56	1,798	1,571	87.3
2月	10	48	58	1,682	1,570	93.3
3月	9	47	57	1,798	1,666	92.6
合計	113	566	680	21,228	19,461	
平均	9.4	47.2	56.6	1,769	1621.6	91.6
前年平均	10.7	45.2	56.0	1,764	1,676	95.0

- ・年間平均の稼働率としては、前年度と比較して3.4%の減少がみられている。  
要因としては、H26年度と同様に退所者が多かった事に加え、入院者数が大幅に増加し、入院期間も長期化した事が主な理由と考えられる。

【2. 入院状況・入退所状況】 ※外泊含む

	入院状況			入退所状況	
	延入院日数	実人数	平均(日)	入所(入苑)	退所(退苑)
4月	117日	5	3.9	2	0
5月	191日	8	6.2	1	2
6月	104日	5	3.5	1	3
7月	22日	2	0.7	3	0
8月	43日	8	1.4	0	1
9月	97日	8	3.2	1	1
10月	145日	6	4.7	1	1
11月	138日	6	4.6	3	4
12月	131日	9	4.2	3	2
1月	124日	10	4	1	3
2月	87日	3	3	3	0
3月	105日	5	3.4	0	1
合計	1,304日			19	18
平均	106.7日	6.2	3.5		
前年平均	30日	1.6	1.0	合計 18	合計 19

・H27年度の入退院が6.2と前年度に比べ約4倍と多く、入退所に関しては19件と前年度とほぼ同様の結果なる事から、入所者の病気等重篤化が多く発生していたと考えられる。

【3. 入院時の病名内訳】

	肺炎(誤嚥性含む)	骨折等	その他
H27	6件	0件	19件

※その他の入院の原因としては、心不全、脳梗塞のほか持病の悪化等がある。

【4.入退所状況内訳】

※ H27.4.1～H28.3.31

状況	入所			退所		
	在宅	病院	他施設	入院	死亡	他施設
小計	6	6	7	1	17	0
合計	19			18		

・新規入所は19名、退所は18名となっている。

## 【5. 入所者の介護度】

※ 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介1	11	11	11	11	11	11	9	9	9	8	8	8
介2	10	9	9	9	9	9	9	8	8	5	6	6
介3	6	6	6	9	9	8	7	7	9	11	12	12
介4	15	15	15	15	15	15	17	18	17	16	17	17
介5	14	13	13	14	14	13	12	13	12	13	12	12
平均 介護度	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
前年	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.3

- ・年間平均介護度は、男性 3.8 女性 3.1 入所者全体で 3.2 となっており、年々、平均介護度の低下の傾向が見られています。

高い要介護度で入所した方の身体状況等が向上・改善したケースと、介護度が高い方（4・5）の死亡退所により、比較的介護度が低い介護度 3・4 の方の入所が多かった事が考えられる。

## 【6. 入所者の年齢構成】※ 集計日 H28.3.31

	人数	認知
65 未満	2	2
65～69	0	0
70～74	2	2
75～79	11	11
80～84	7	7
85～89	17	17
90～	18	18
合計	57	57

男	平均 年齢	80.4	平均 入苑期間 (ヶ月)	2年6ヶ月
女		86.4		3年6ヶ月
計		85.3		3年6ヶ月

【最高年齢】 男性：94歳 女性：102歳

【最年少者】 男性：63歳 女性：63歳

※ **認知症**は認知症自立度が「自立」以上の利用者

- ・入苑者平均年齢は 85.3 歳となっており、昨年度平均 85.7 歳と比較し、ほぼ横ばいの状態が継続している。
- ・平均入苑期間は 3 年 6 ヶ月。前年度平均は 3 年 4 ヶ月であり、2 ヶ月ほど伸びている。比較的、入所期間の短い方が退所されるケースが多く、特に 1 8 件中 5 件が、1 年未満となっている。

## 【7. ADL 状況】 ※ 集計日 H28.3.31

### ① 食事形態

(主食)

	常食	粥	ミキサー	経腸
人数	21	27	3	2

(副食)

	常食	ざく	刻み	極刻み	ミキサー	経腸
人数	15	6	12	11	7	2

- ・便秘傾向の方対象で通常の食事に玄米食を提供。  
(排便コントロールに効果がみられている)
- ・8月に夕食時に合わせて中庭で野外食(ジンギスカン等)を実施。
- ・毎月、複式の選択メニューによる手作りのおやつや飲み物などを誕生会喫茶に合わせて提供しています。

### ② 入浴の状況

	一般浴	特浴	座浴
人数	11	20	22

### ③ 移動(歩行)の状態

	自立	歩行器	車イス	リクライニング
人数	3	7	33	10

## 【8. 家族等の面会状況】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
208	177	183	199	245	144	136	109	127	115	5	9	1,657

- ・2月、3月は面会が極端に少ない状況となっているが、例年通りインフルエンザや風邪などの流行に伴う「面会制限」によるもの。

## 【9. 会議・委員会等の運営状況】

<b>身体拘束廃止推進委員会</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各フロア別に身体拘束を行っている入苑者の記録と評価を行う。また、身体拘束解除に向けた取り組みを行う。</li> <li>・身体拘束に繋がりそうな入苑者に対して、対応策を検討、実施する。</li> <li>・職員に身体拘束に対する研修（勉強会）を行う。</li> </ul>
<b>事故防止対策委員会</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各フロア別に施設内の事故報告について個別対策を検討。</li> <li>・ヒヤリハット報告について各フロア毎に統計をとる。</li> <li>・個別に対応した事故報告について、対応を再確認する。</li> <li>・職員に身体拘束に対する研修（勉強会）を行う。</li> </ul>
<b>感染症対策委員会</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内点検及び換気扇、入浴設備の清掃。</li> <li>・食中毒、ノロウイルス等の感染症に対する職員研修。</li> <li>・入苑者、利用者、職員の健康状態の確認。</li> <li>・衛生関係備品の確認、準備、指導。</li> </ul>
<b>排泄委員会</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人別の排泄状況の確認。（使用オムツ等の把握も含む）</li> <li>・おむつゼロに向けての取り組み計画、実施、状況確認。</li> <li>・排泄関係の職員研修。</li> </ul>
<b>行事企画委員会</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養年間行事の企画、立案、準備、運営。</li> <li>・遊びりテーション（集団機能訓練など）、誕生会喫茶、桜見学、ビデオ上映、居酒屋、母の日、父の日、野外食、チャリティープロレス観戦、バスハイク、お盆法要、夏祭り、水きらりパレード見学、標津神社祭見学、敬老会、運動会、文化祭見学、クリスマス会、餅つき、豆まき等。</li> </ul>
<b>研修委員会</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の各研修立案、準備、実施。</li> <li>・内部研修（25回）※新人研修含む</li> <li>・外部研修（34回）※札幌、帯広、釧路、根室、中標津等</li> </ul>
<b>責任者会議</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸連絡、調整、法人の事業収支状況報告。</li> </ul>
<b>職員（全体）会議</b> (2回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度決算報告、平成27年度予算について。</li> <li>・平成27年度人事評価（部門目標・個人目標）など。</li> </ul>
<b>主任会議・副主任会議</b> (12回実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護統括主任、フロア主任及び副主任（10名）による意見交換、連絡や報告、ケア方法や職員対応等の確認。</li> </ul>

フロアミーティング (12回実施)	・各フロア別によるケアの確認、調整。
サービス担当者会議 (12回実施)	・特養の個別介護計画の評価、検討。
介護士会議 (12回実施)	・特養ケアに対するケア方法の確認統一など。
医療的ケア対策推進委員会 (12回実施)	・介護職員による喀痰吸引の実施状況の確認、及び問題点の検討や看護職員による注意喚起、指導など。
新設検討委員会 (12回実施)	・法人新事業の開設に向けた検討、協議などの取り組み。
安全衛生委員会 (12回実施)	・労働安全衛生法に基づき、職員の労働災害の予防や健康管理を目的とする取り組み。
その他	・入所優先度判定委員会 (10回) ※諸都合により2回中止 ・地域ケア会議 (12回)

## 【10. 援助実施内容】

### (1) 生活援助

#### ① 食事の提供と援助

入苑者の食事摂取状況に応じた食事形態の提供、また食事中の見守り及び、適切な方法で食事介助を提供する事による自立への支援と誤嚥の予防。

また、食事を楽しんでいただく為、季節毎の行事や献立を工夫して提供。

#### ② 入浴介助

H27年度も一般浴（温泉で大きい浴槽）での入浴を継続して提供。

プライバシーに配慮し、丁寧な介助によりご利用者の清潔の保持、気持ちの良い入浴を心掛ける。

#### ③ 排泄介助

「おむつゼロ」への取り組みの一つとして、個々の状況に応じた排泄の見直しを随時、排泄委員会が中心となって取り組んできた。

H28年度についても昨年度と同様、より一層取り組みを強化し、お一人でも多くの方がトイレでの排泄が可能になるよう継続して取り組みを行いたい。

## (2) 健康管理

入苑者が心身共に健康で充実した日常生活を送る事ができるよう、個人の健康状態の把握に努め、標津病院等の協力医療機関の協力の下に健康面の管理を行う。

また、感染症流行時期には、ご家族の皆様のご協力により面会制限を実施する事でインフルエンザなどの感染者無く経過。

- ・入苑者健康診断(2回)
- ・入苑者歯科検診(1回)
- ・職員健康診断(2回)

## 3 標津はまなす苑短期入所生活介護事業所

### 【 1.利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	稼働率 (%)
4月	135	18	4.7	1.8	29	51.7
5月	159	18	5.1	2	31	56.9
6月	140	16	4.7	1.9	30	51.8
7月	142	18	4.6	2	31	50.9
8月	149	20	4.8	1.9	31	53.4
9月	173	20	5.8	1.5	30	64.0
10月	156	18	5.2	1.4	30	57.7
11月	146	17	5	1.6	29	55.9
12月	180	19	5.8	2.2	31	64.5
1月	230	26	7.4	2.1	31	82.4
2月	200	26	6.9	1.7	29	76.6
3月	255	29	8.2	1.6	31	91.4
合計	2,065				363	
平均	172.1	20.4	5.7	1.81		63.2
前年平均	207	23.4	6.9	2.0		75.9

- ・9ベット+空床(入院者等の空ベット)の利用型
- ・年間平均稼働率は62.8%であり昨年(H26)と比較すると約13%の減少がみられる。定期利用の方が入院するケースが多く、また例年と比較し他町からの利用が少なかった事が主な要因と考えられる。  
後半は他町からの利用も増加し、例年に近い稼働が得られた。

#### 4 デイサービスセンター標津はまなす苑

##### 【 1. 利用の状況 】

	延人数 (人)	実人数 (人)	一日平均 利用者数	平均 介護度	稼働 日数	キャン セル	稼働率 (%)
4月	457	78	20.8	1.1	22	47	59.4
5月	451	75	21.5	1.1	21	39	61.4
6月	436	69	19.8	1.0	22	38	56.6
7月	480	69	20.9	1.0	23	31	59.6
8月	441	69	21.0	1.0	21	32	60.0
9月	446	66	20.3	0.9	22	33	57.9
10月	482	74	23.0	0.9	21	46	65.6
11月	469	73	22.3	0.9	21	37	63.8
12月	455	69	21.7	1.0	21	57	61.9
1月	335	67	19.7	1.0	17	70	56.3
2月	402	64	19.1	1.0	21	41	54.7
3月	435	67	19.8	1.0	22	43	54.0
合計	5,289				254	514	
平均	441	70.0	20.83	0.99		42.83	59.27
前年平均	470	80.0	22.7	1.2		49	65.0

- ・定員 25名(予防・要介護複合型) 月～金(週5日)の営業。5月祝日営業
- ・提供時間 9:00～16:10。

・利用者実人数:1ヵ月平均70名の利用、延べ人数:1ヵ月平均441名、1日の平均利用者数:20.8名の利用、稼働率は59.27%と、厳しい状況となった平成26年度からさらに落ちている状況。

##### 稼働低下の要因として

①平成26年度同様に長期入院者や施設入所、亡くなる方が非常に多く出ている状況。内訳では、施設への入所15名、死去が15名。地域全体としては標津町の介護認定者数の減少と新規介護認定者の減少の状況が重なり標津町で唯一の通所介護でありながら、26年度よりもさらに稼働率を落とした要因と思われる。

②悪天候による影響。平成26年度程ではないが、荒天により、営業中止や、営業地

域、時間の縮小等が5日あった。

③利用しやすい状況のアピール不足。この事に関しては、年度後期より、利用しやすい状況を各方面へ積極的に説明し振替利用等の声掛け等も普通に行える体制で進めている最中。

#### 今後（平成28年度）について

標津町地域全体で、介護認定者数が減少しており新規利用者がなかなか増えない状況が暫く続く予測ができる事から、現利用者の利用回数の増や、それに繋がる取組の継続をし、振替利用がしやすい事を適時伝え、用事や病院受診等で欠席された方の利用増を目指していきます。

## 【 2. 利用者の介護度 】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	30	10	20	13	2	3	0
5月	29	11	19	12	1	3	0
6月	27	10	17	13	1	1	0
7月	26	14	15	13	0	1	0
8月	26	16	14	12	0	1	0
9月	25	14	15	11	0	1	0
10月	27	15	18	13	0	1	0
11月	26	16	17	13	0	1	0
12月	22	18	15	12	1	1	0
1月	23	13	18	12	0	1	0
2月	22	12	18	11	0	0	1
3月	23	14	19	10	0	0	1

## 【 3. 地区別集計 】

(H28.3.31時点)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
標津町内	1	3	5	13	10	13	45
川北		2	4	6	6	10	28
古多糠				2	2	3	7
茶志骨(パ)				1		5	6
茶志骨(住)				2		1	3
薫別				1		1	2

忠 類	1			1	1		3
伊茶仁			2		1	3	6
合 計	1	5	11	26	20		100

## 5 標津福祉会居宅介護支援事業所

### 【 1. 利用の状況 】

	請求 件数	新規者	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5
4月	18	2	6	7	1	3	1
5月	15	0	6	5	1	3	0
6月	12	0	5	5	0	1	1
7月	12	0	5	5	0	1	1
8月	11	0	4	5	0	1	1
9月	12	2	5	6	0	1	0
10月	18	5	10	7	0	1	0
11月	19	1	10	7	0	1	1
12月	17	0	8	7	0	1	1
1月	17	3	7	7	1	1	1
2月	18	3	9	7	0	2	0
3月	27	10	16	9	0	2	0
合 計	196	26	91	77	3	18	7
平 均	16.33	2.17	7.58	6.42	0.25	1.5	0.58
前年平均	18.7	0.7	7.3	8.1	0.5	1.8	0.9

・H27年度の平均請求(介護サービスを利用した方)件数は16.33名となっており、前年に比べ若干下がっています。内訳は要介護度が3~5の方の施設入所や、標津町全体で重度の要介護者で亡くなる方が多かった為と思われます。また、新規介護申請者も少なくなっている時期と捉えております。対応として、他事業所より、居宅担当の引き継ぎを積極的に行い、実際に介護保険請求件数が1月後半よりアップしております。居宅担当件数は上記の数よりも常に3件程多い状況です。

今後も継続して介護保険新規申込み者の方の居宅担当(居宅介護支援事業所)として受け入れをしていきます。また、介護支援専門員として本人、家族とも安心して生活ができるよう支援をしていきます。

## 6 訪問配食事業

### 【 1. 利用の状況 】

- ・H27年度の配食数は年間1,232食で、延人数は96人(月平均 8人・実人数 10人)の状況でした。今後についても美味しい、栄養バランスの取れた食事に考慮しながら、健康的な食事を提供していきます。また、配食時には給食サービスの特色を生かし、常に声かけをし、利用者の安否や健康状態の把握に努め、必要あるときは、関係機関と密に連絡調整を行い必要な対処ができるよう努めて参ります。